



あなたに知ってほしいこと

# HIV/AIDSとは

**H**IVは、Human Immunodeficiency Virus( ヒト免疫不全ウイルス )というウイルスの頭文字をとった略称です。

**A**IDSは、Acquired Immunodeficiency Syndrome( 後天性免疫不全症候群 )という病気の略称です。免疫機能が低下し、厚生労働省が定めた23の合併症(日和見感染症など、P5参照)のいずれかを発症した場合、AIDSと診断されます。



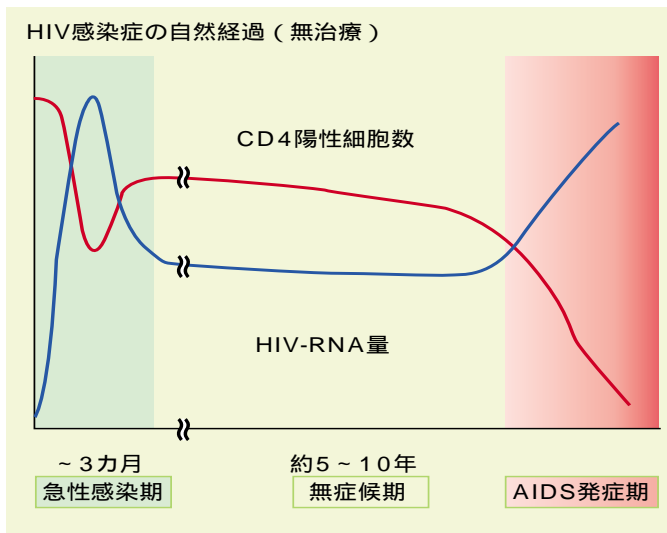
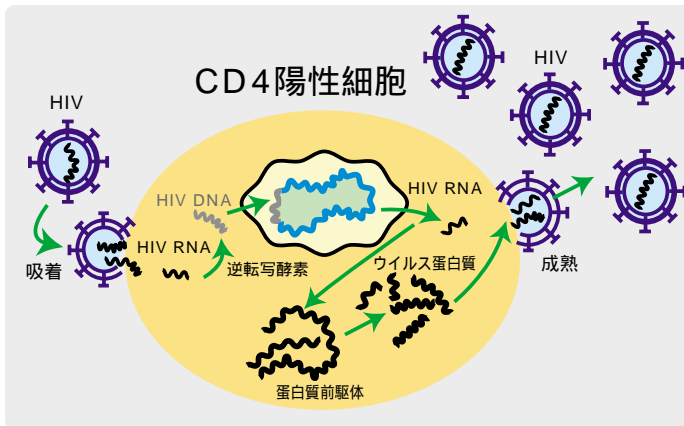
**HIV感染/AIDS = 死ではありません。**

治療は格段に進歩しています。適切な治療を受けましょう

# HIV感染症とは

**H**IVはウイルスです。細菌や真菌などのように、外から栄養を吸収して、自分で増殖することはできません。ウイルスは生きた細胞の中でしか増殖することができません。HIVの増殖する細胞が、ヒトのCD4陽性細胞です。本来ウイルスと戦うためにあるCD4陽性細胞が、ウイルス増殖の主な温床となっているのです。

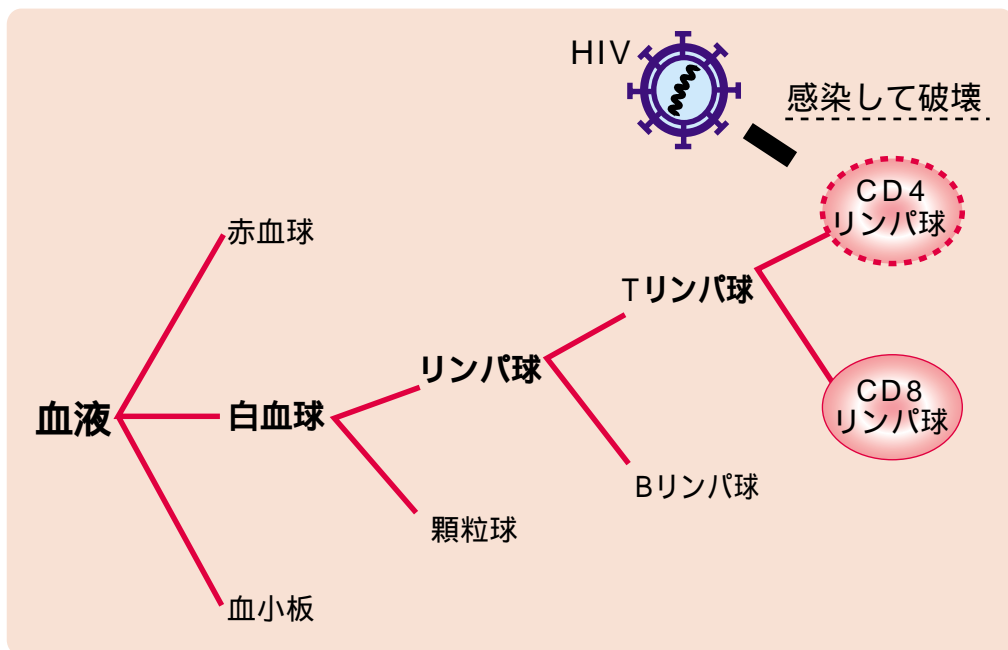
**H**IVは免疫の司令官の役割を果たしているCD4陽性細胞に進入し、増殖し、最後にはCD4陽性細胞を破壊してしまいます。CD4陽性細胞が減り続けると、体の免疫機能を維持することが難しくなり、免疫力が低下していきます。何も治療をしなければ、免疫力は徐々に低下し、一般的には5～10年でAIDSを発症(発病)すると言われています。



## 免疫とは

**私** たちの周りには、目に見えなくても細菌やウイルスなどの病原体が存在しています。人の体には、免疫という仕組みがあり、外から体内に異物が進入した場合、それを排除するように作られています。しかし、免疫力が低下すると、健康なときには何も問題がなかった弱い病原体(ウイルスや真菌など)が原因となって、さまざまな日和見感染症が現れやすくなります。

### 血液からCD4までの分岐図



# CD4陽性細胞とは

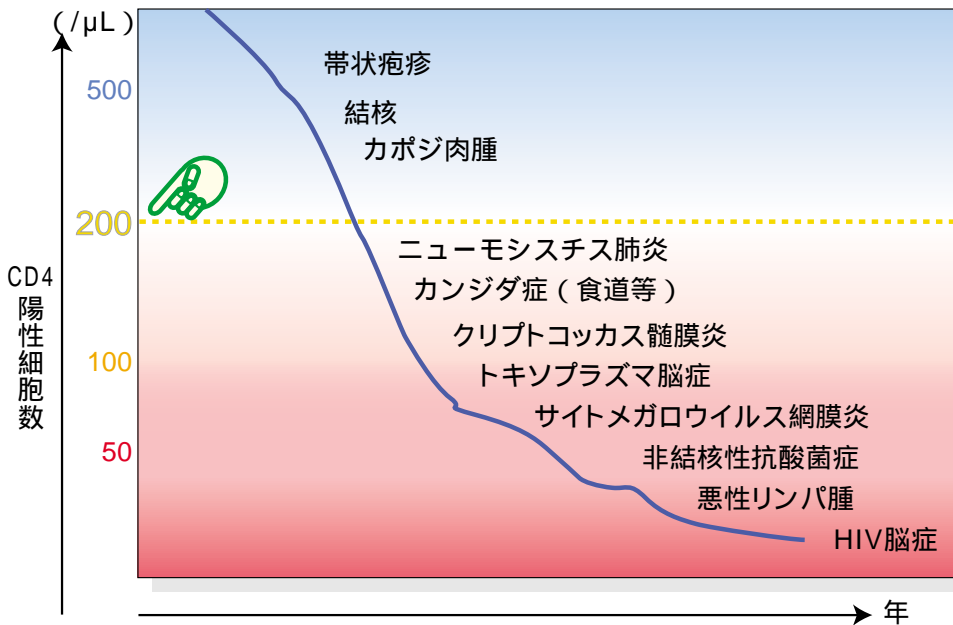
## CD4陽性細胞数が免疫状態を示します。

**C** D4陽性細胞は、白血球中のリンパ球の一種で、ウイルスや細菌を攻撃する司令官の役割を担っている、免疫の中でも重要な細胞のひとつです。

CD4陽性細胞の数から、気をつけなければならない日和見感染症が、ある程度わかります。

健康なときには、CD4陽性細胞が血液1  $\mu\text{L}$ あたり約700～1500ありますが、HIVに感染すると減少していきます。CD4陽性細胞の数値と日和見感染症の出現には大きな関係があり、CD4陽性細胞数が200を下回ると、下図のように様々な日和見感染症が現れる可能性があるため、注意が必要です。

## CD4低下と日和見感染症の図



## 日和見感染症とは

**免** 免疫力が低下すると、健康なときには問題にならない病原体（ウイルスや真菌など）を防ぐ力が弱くなり「日和見感染症」が現れます。日和見感染症の多くは、自分がかかっている菌やウイルスによって引き起こされます。代表的なものにニューモシスチス肺炎、カンジダ症、クリプトコッカス症、サイトメガロウイルス感染症などがあります。

### 厚生労働省が定めるAIDS発症の基準となる23の合併症（日和見感染症）一覧

1	カンジダ症（食道、気管、気管支、肺）
2	クリプトコッカス症（肺以外）
3	ニューモシスチス肺炎
4	コクシジオイデス症 （1.全身に播種したもの、2.肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの）
5	ヒストプラズマ症 （1.全身に播種したもの、2.肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの）
6	クリプトスポリジウム症（1ヵ月以上続く下痢を伴ったもの）
7	トキソプラズマ脳症（生後1ヵ月以後）
8	イソスポラ症（1ヵ月以上続く下痢を伴ったもの）
9	非結核性抗酸菌症 （1.全身に播種したもの、2.肺、皮膚、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの）
10	化膿性細菌感染症 （13歳未満でヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により以下のいずれかが2年以内に2つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの。1.敗血症、2.肺炎、3.髄膜炎、4.骨関節炎）
11	活動性結核（肺結核又は肺外結核）
12	サルモネラ菌血症（再発を繰り返すものでチフス菌によるものを除く）
13	サイトメガロウイルス感染症（生後1ヵ月以後で肝、脾、リンパ節以外）
14	単純ヘルペスウイルス感染症（1.1ヵ月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を形成するもの 2.生後1ヵ月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの）
15	進行性多巣性白質脳症
16	カポジ肉腫
17	原発性脳リンパ腫
18	非ホジキンリンパ腫（LSG分類による。1.大細胞型・免疫芽球型、2.Burkitt型）
19	浸潤性子宮頸癌
20	反復性肺炎
21	リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成：LIP/PLH complex（13歳未満）
22	HIV脳症（痴呆又は垂急性脳炎）
23	HIV消耗性症候群（全身衰弱又はスリム病）

## ウイルス量(HIV-RNA量)とは

血液1 mL中のウイルスの量をいいます。

**ウ** イルス量が多いと、病気の進行が早くなると言われています。ウイルス量やCD4陽性細胞数、その他の状態を総合的に見て、治療方針が決まります。HIVの治療ではウイルス量を検出限界以下に保つことを目指します。検出限界の数値は50コピー/mLです。現在、50コピー/mL以下のウイルス量は測定できません。これを検出限界以下と言います。

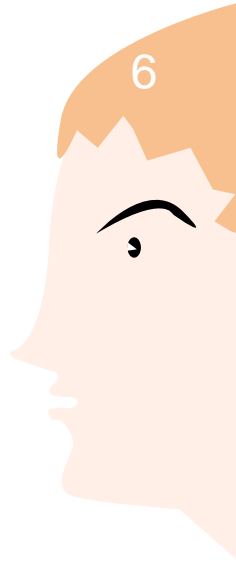
### 検査数値の読み方

ウイルス量が血漿1 mL中に14000の場合  
 $1.4 \times 10^4$ コピー/mLと表します。

ウイルス量が血漿1 mL中に140000の場合  
 $1.4 \times 10^5$ コピー/mLと表します。

**抗HIV療法の治療目標は検出限界以下です。**

2 ~ 3倍の誤差があります。



# HIV感染症の治療とは

**治**療開始にあたって、医師・看護師・薬剤師等と十分に話し合しましょう。現在の抗HIV療法は、多剤併用療法によって血液中のHIVの増殖を抑制し、病状の進行を阻止することができますが、HIV感染症を完治させる(ウイルスを完全に体内から消す)ことはできません。日和見感染症の治療は、病原体にもよりますが、ほぼ完治することが可能です。現在行われているHIV感染症治療は、以下の2つになります。

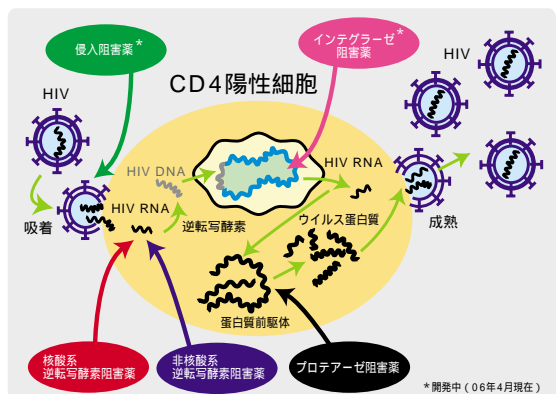
## 1 日和見感染症の治療

日和見感染症が認められた場合は、感染症治療薬を使った治療が行われます。CD4陽性細胞数が200以下の場合は、日和見感染症が認められなくても、予防薬の服用をしていただきます。

## 2 HIVの増殖を抑える

抗HIV薬を服用することで、CD4陽性細胞の中で起こる、HIVの増殖ポイントを抑えます。効き方の異なる数種類の薬を併用します。

ウイルス増殖のサイクルと薬の作用点



## 抗HIV療法の治療開始基準

<<< AIDSを発症していない場合 >>>

- (1) CD4陽性Tリンパ球数が350/μLより多い  
治療を行わず、経過観察する(注1)
- (2) CD4陽性Tリンパ球数が350/μL以下  
治療を開始する(注2,3)

注1: 妊婦、HIV関連腎症患者、B型肝炎の治療を開始する患者では抗HIV治療開始を考慮する

注2: 治療開始にあたっては、服薬アドヒアランスの確保が重要である

注3: 感染早期でCD4陽性Tリンパ球の回復が期待できる場合は、経過観察しても良い

<<< AIDSを発症している場合 >>>

### 治療を開始する(注1,2)

注1: エイズ指標疾患が重篤な場合は、その治療を優先する必要がある場合がある

注2: 免疫再構築症候群が危惧される場合は、エイズ指標疾患の治療を先行させる

治療の開始にあたっては、主治医とよく相談してください。

# 抗HIV薬一覽

・抗HIV療法として下図の薬剤のうち、2～3種類を毎日1～2回内服してもらう必要があります。

## 逆転写酵素阻害薬

商品名	一般名・略名 (含有量)	用法・用量 (30日分薬価)	食事の影響	主な副作用と注意事項
レトロビル	ジドブジン ZDV(AZT) (100mg)	500-600mg/日 1日量を2-6回に分けて服用 (¥47,805 - ¥57,366)	なし	食欲不振、嘔気、全身倦怠感、貧血、血小板減少、頭痛、筋肉痛、味覚倒錯、乳酸アシドーシス
ゼリット	ザニルブジン d4T (20mg,15mg)	1回2 Cap 1日2回 12時間毎 (体重60Kg未満の場合60mg/日) (¥59,004 - ¥59,364)	なし	末梢神経障害、乳酸アシドーシス、肺炎、筋肉のやせ、頬がこける
エビビル	ラミブジン 3TC (300mg,150mg)	300mg 1日1錠 150mg 1回2錠 1日1回(150mgx2) または、1回1錠(150mgx1)を1日2回 (¥56,067 - ¥58,104)	なし	乳酸アシドーシス 中止によるB型慢性肝炎の悪化
エムトリバ	エムトリタビジン FTC (200mg)	1回1 Cap 1日1回 (¥48,594)	なし	乳酸アシドーシス、皮膚変色 中止によるB型慢性肝炎の悪化
ヴァイデックスEC	ジダノシン ddl (200mg,125mg)	1回2 Cap 1日1回 (体重60Kg未満の場合250mg/日) (¥71,394 - ¥112,434)	食前	末梢神経障害、乳酸アシドーシス、肺炎、筋肉のやせ、頬がこける 空腹時服用 腸溶性顆粒をカプセルに充填
ハイビッド	ザルシタビン ddC (0.375mg)	1回2錠 1日3回 8時間毎 (¥125,352)	なし	末梢神経障害、乳酸アシドーシス、肺炎、筋肉のやせ、頬がこける
ザイアジェン	アバカビル ABC (300mg)	1回1錠 1日2回 12時間毎 (¥59,976)	なし	発疹、過敏症、乳酸アシドーシス 過敏症の発現により本剤の投与を中止した患者に再投与不可
コンビビル	ジドブジン +ラミブジン COM (300+150mg)	1回1錠 1日2回 12時間毎 (¥113,574)	なし	食欲不振、嘔気、全身倦怠感、貧血、血小板減少、頭痛、筋肉痛、味覚倒錯、乳酸アシドーシス ZDV/3TCの配合剤、中止によるB型慢性肝炎の悪化
エブジコム	アバカビル +ラミブジン EZC (300+300mg)	1回1錠 1日1回 (¥117,498)	なし	発疹、過敏症、乳酸アシドーシス 過敏症の発現により本剤の投与を中止した患者に再投与不可 ABC/3TCの配合剤、中止によるB型慢性肝炎の悪化
ピリアード	フマル酸テノホビル ジソプロキシル TDF (300mg)	1回1錠 1日1回 (¥61,467)	なし	悪心、下痢、鼓腸、腎機能障害、肺炎、乳酸アシドーシス 中止による慢性B型肝炎の悪化
ツルバダ	エムトリタビジン+フマル酸テノホビル ジソプロキシル TVD (200+300mg)	1回1錠 1日1回 (¥115,032)	なし	悪心、下痢、鼓腸、腎機能障害、肺炎、乳酸アシドーシス FTC・TDFの配合剤
ピラミューン	ネビラピン NVP (200mg)	1回1錠 1日2回 12時間毎 (¥60,126)	なし	発疹、眠気 発疹には重症例あり注意
ストックリン	エファビレンツ EFV (200mg)	1回3 Cap 1日1回 (¥59,886)	なし	めまい、ふらつき、発疹、異夢、熱感
レスクリプター	メルル酸 デラビルジン	1回2錠 1日3回 (¥61,002)	なし	頭痛、嘔気、嘔吐、下痢、発疹

## プロテアーゼ阻害薬

商品名	一般名・略名 (含有量)	用法・用量 (30日分薬価)	食事の影響	主な副作用と注意事項
クリキシパン	硫酸インジナビル IDV (200mg)	1回4 Cap 1日3回 8時間毎 (¥42,516)	食前	腎結石、食欲不振、嘔気、嘔吐、全身倦怠感、頭痛 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー 空腹時服用(少量低脂肪食可) 1日1.5リットル以上の水と共に服用
インビラーゼ+ノービア	SQV 5Cap+RTV 1Cap 2錠+RTV 1Cap	1回1000mgに RTV100mgを 加え、1日2回 (¥58,188)	食後	突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー
ノービア・ソフトカセル	リトナビル RTV (100mg)	1回6 Cap 1日2回 12時間毎 (¥3,758 - ¥7,512)	食後	悪心・嘔吐、下痢、熱感、全身倦怠感、口周囲のしびれ、突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー 冷所保存 6Capにビール15ml程度のアルコールを含む
ノービア・リキッド	リトナビル RTV (80mg/ml)	1回7.5ml 1日2回 12時間毎 (¥47,835)	食後	悪心・嘔吐、下痢、熱感、全身倦怠感、口周囲のしびれ、突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー 7.5ml中ビール50ml程度のアルコールを含む
ピラセプト	メルル酸ネルフィナビル NFV (250mg)	1回5錠 1日2回 12時間毎 (¥48,570)	食後	水様性下痢、発疹 発疹は開始後7-13日に出現 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー 空腹時に服用すると吸収が50%低下
レクシヴァ	ホスアンプレナビルカルシウム水和物 FPV (700mg)	1回2錠 1日2回 12時間毎(その他RTV併用療法あり) (¥94,404)	なし	悪心・嘔吐、下痢、口周囲のしびれ、発疹 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー
レクシヴァ+ノービア	FPV1錠+RTV1Cap 1日2回 12時間毎 FPV2錠+RTV2Cap 1日1回 24時間毎 (¥54,714)			
カトラ錠	ロピナビル+リトナビル LPV・RTV (200mg+50mg)	1回2錠 1日2回 12時間毎 (¥46,332)	食後	下痢、嘔気、異常便、腹痛、無力症、頭痛、不整脈 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー
カトラ・リキッド	ロピナビル+リトナビル LPV・RTV (80+20mg/ml)	1回5ml 1日2回 12時間毎 (¥47,070)	食後	下痢、嘔気、異常便、腹痛、無力症、頭痛 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー
レイアタツツ	硫酸アタザナビル ATV (200mg,150mg)	1回2 Cap 1日1回 (中等度肝機能障害の場合300mg/日) (¥34,122 - ¥45,708)	食事中 食直後	悪心、頭痛、発疹、腹痛、下痢、嘔気、黄疸 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー
レイアタツツ+ノービア	ATV(150mg) 2Cap+RTV1Cap 1日1回 24時間毎 (¥37,878)			
ダルナビル	ダルナビル DRV(300mg) DRV2錠+RTV1Cap 1日2回 12時間毎 (¥52,032)		食事中 食直後	頭痛、下痢、悪心・嘔吐、腹痛、便秘 突発性出血(血友病患者) リボジストロフィー

## 治療を続けるために

**ウ** イルスの増殖を抑えるためには、決められた時間に正しく薬を飲み、血液中の薬の濃度を一定以上保っておく必要があります。薬を飲んだり飲まなかったりして、中途半端な服薬を続けると、薬の効きにくい薬剤耐性ウイルスが出現する可能性があります。

**服** 薬を開始すると、個人差はありますが、副作用の現れることがあります。抗HIV薬の中には、相互作用の多い薬があります。病院で用いられる薬以外にも、健康食品や違法ドラッグなど様々なものとの相互作用があります。起こる症状も様々で、薬が効き過ぎたり、効き目が低下したり、時には重篤な副作用が出現する場合もあります。

**長** い間薬を飲んでいると、さまざまな問題に出会います。服薬することがむずかしくなったときや、服薬に関する質問があるときは、遠慮なく医師・薬剤師・看護師などに相談してください。

**治** 療を続けていくと迷うことや悩むことがたびたび生じます。そんなとき、自らの治療に主体的に取り組むためにカウンセリングを利用するのも一つです。カウンセリングは特殊なことではありません。病院によっては院内にカウンセラーがいる場合があります。また院内にいなくても、都道府県によってはカウンセラーを医療機関に派遣する派遣カウンセリング制度を実施している自治体もあります。カウンセリングの利用を望まれる方は、主治医に気軽に相談してください。



# 医療費と利用できる制度について

**健**

健康保険証を使って受診をすると、どこかの医療機関でも自己負担が発生します。自己負担が高額になる場合や、医療費の支払いが困難な経済状況にある場合などは、医療費の自己負担を軽減する制度が利用できます。HIV感染症の治療は、抗HIV薬を飲むようになると、月々の自己負担が6万円前後となります。制度を利用することで、自己負担を軽くすることができます。

医療費について、制度の利用について、知りたいこと心配なことがあれば、医師、看護師、MSW(医療ソーシャルワーカー)などにご相談ください。

## 高額療養費(附加給付金)

**月**

々の医療費が一定額を超えた部分が払い戻されます。加入の健康保険組合によって手続き方法、金額などに違いがあります。

## 身体障害者手帳

**免**

疫機能障害として身体障害者の認定が受けられます。4週間以上間のあいた2回の検査データがあり、等級に該当すれば、いつでも申請を行うことができます。

医療費の助成をはじめ、様々な福祉サービスを利用することができます。

## 自立支援医療

**身**

身体障害を軽くしたり進行を防いだりするための治療に対して医療費が助成される制度です。身体障害者手帳の取得が条件です。医療費の自己負担が1割負担となり、所得に応じて負担の上限額が設定されます。

自立支援医療の範囲.....抗HIV療法、合併症の予防及び治療など、とされています。

負担上限額.....国の基準は月額2,500円～20,000円(平成21年4月見直し予定)

## 重度障害者医療

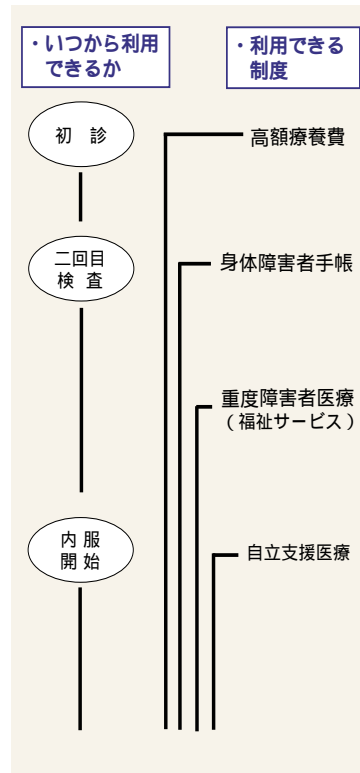
**一**

定の等級以上の身体障害者手帳をお持ちの方で、所得制限にかからない方が利用できます。

障害等級の範囲、所得制限、助成の範囲など自治体によって異なります。

上記の制度は、加入している健康保険、お住まいの自治体によって手続き方法、負担上限金額などが異なります。

障害者への福祉サービスは医療費のほかにもいろいろあります。詳しくはご相談ください。



# HIVと感染経路

## HIVの主な感染経路は3つあります。

### 1 性行為

HIVは感染者の精液(先走り液も含む)、血液、膣分泌液に多く含まれています。粘膜や傷のある皮膚などに接触した時に、感染の可能性があります。

例)コンドームを使わない膣性交、肛門性交など

### 2 感染した母親から子供へ(母子感染)

胎内での感染や、出産時の出血による感染の可能性があります。母乳に含まれるウイルスの量は少ないのですが、赤ちゃんは多くの母乳を飲みますので感染の可能性があります。しかし、今では、お母さんが抗HIV薬を服用することや、母乳を与えないことで、赤ちゃんへの感染率を下げるできるようになりました。

### 3 注射器・注射針の使い回し

ウイルスの含まれる血液が付着した注射器・注射針などを用いて、麻薬・覚せい剤などを使用した場合、感染の可能性があります。

## こういうことでは感染はしません。

汗・涙・唾液・咳・くしゃみからの感染はありません。飛沫感染しません。

パソコン等の事務用品の共用で感染しません。

電車のつり革・階段の手すりから感染しません。

食器類共用での感染はありません。

風呂・洗面台・便座の共用の感染はありません。

蚊で感染することはありません。



## これは注意しましょう

HIVは、血液・精液・膣分泌液に多く含まれているので、これらの体液が傷口や粘膜に触れることのないよう注意しましょう。

献血はやめましょう。

カミソリ・歯ブラシの共用はやめましょう。

血液の付着した衣類の洗濯は漂白剤で数十分浸したあと、通常通り洗濯して下さい。

コンドームを正しく使用し、セーフターセックスをすることが大切です。

妊娠・出産については医師・看護師にご相談ください。

## 日常生活の注意点

一日の生活リズムを持つようにしましょう。

**不** 規則な生活を送っていると、  
体に無理な負担がかかります。

食事についても、1日3食バランスの良い食事をすることが大切です。

**生** ものや無農薬野菜はよく洗い、加熱調理をして下さい。  
生水にも気をつけましょう。

**睡** 眠は疲れを癒すためにも重要です。不眠の  
方は医師や看護師に相談して下さい。

**動** 物からうつる日和見感染症もあります。  
ペットを飼っている場合や、飼おうとする  
場合は医師・看護師に相談して下さい。

例：トリの糞によるクリプトコッカス症  
ネコによるトキソプラズマ症



## 定期的に受診しましょう

**体**の調子が良くても、定期的に受診する必要があります。HIV感染症による免疫力の低下は、血液検査をしなければわからないことも多いからです。また、抗HIV療法を行っている場合は副作用のチェックも必要です。医師の指示に従って、定期的に受診して下さい。

**定**期受診を行うことで、病状の変化に対して、早期に対応することが可能になります。検査データも記録しておきましょう。自分の状態を確認できます。

### データシート

No.

項目	検査日	年 日		
		月	年	日
体 重		kg		
CD4		33 ~ 49%		
CD4数		/ $\mu$ l		
CD8		19 ~ 33%		
CD8数		/ $\mu$ l		
CD4/CD8比		0.6 ~ 2.9%		
ウイルス量		コピー/mL		
AST( GOT )		5 ~ 32 IU/L/37		
ALT( GPT )		13 ~ 33 IU/L/37		
T-CHO(総コレステロール)		120 ~ 220 mg/dL		
TG(中性脂肪)		45 ~ 150 mg/dL		
血 糖		62 ~ 127 mg/dL		
BUN		8 ~ 23 mg/dL		
CRN		0.2 ~ 0.9 mg/dL		
UA(尿酸)		男3.0 ~ 7.5 女2.0 ~ 6.0 mg/dL		
アミラーゼ		38 ~ 141 IU/L		
白血球数		6.0 $\pm$ 2.0 $\times 10^3$ / $\mu$ l		
リンパ球		27 ~ 47%		
ヘモグロビン		男15.5 $\pm$ 1.5 女13.5 $\pm$ 2.0 g/dL		
血 小 板		240 $\pm$ 110 $\times 10^3$ / $\mu$ l		
備 考		国立病院 大阪医療センター における正常値参考値		

# 私たちはあなたをサポートします

**人** は誰でも病気になります。病気によっては体の免疫力で自然に治ってしまうものと、治療を受けなければ治らないものがあります。病気の種類によらず、人は誰でも良い医療を受ける権利があります。

**H** IV感染症も例外ではありません。さまざまな病気の1つなのです。この病気は、現在の治療では治しきることがまだできません。しかし、いまや死の病ではなく慢性疾患と言われるまでになりました。これは治療の進歩に伴い、HIV感染症の進行を抑えることができるようになったためです。HIV感染症の治療で大切なのは、医療者側と患者さんの両者が一緒になって病気に向き合うことです。私たちは安心できる医療を提供していきたいと思っています。

さまざまなNPO(民間非営利組織)、民間公益法人、ボランティア団体が電話相談やケアサポートなどを通して、感染者の支援を行っています。例えば、以下のような団体があります。

## 1. 財団法人 エイズ予防財団

電話相談 TEL 0120-177-812 (携帯電話専用: TEL 03-3592-1183)  
月曜日～金曜日(10時～13時・14時～17時) 土・日・祭日は休み

1987年に厚生省認可の「財団法人 エイズ予防財団」が設立されました。エイズに関する知識・予防行動の普及啓発、HIV感染者等のための保健福祉相談、研修の実施等、様々な活動を行っています。上記の電話相談の番号以外に日本語、英語、スペイン語等、8カ国語に対応した24時間電話自動応答システム(JFAPエイズサポートライン: 03-5521-1177)による情報提供も実施しています。

## 2. 特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター大阪支部(JHC大阪)

電話相談 TEL 06-6882-0102 土・日曜日 日本語(13時～18時)  
TEL 06-6882-0282 土曜日 英語(12時～15時)  
TEL 06-6882-0313 第1・3土曜日 ゲイ(18時～21時)

HIV感染によって、またAIDSに対する社会の偏見によって、困難を強いられている人々の直接支援を目的とした団体です。1988年に大阪で発足して以来、感染経路を問わない救援活動、幅広い情報提供、啓発活動は全国に広がっています。

## 3. ケアーズ(CARES)

電話相談 TEL 06-6474-9661 土曜日 日本語(14時～18時)

大阪に本部を置く「血友病患者並びにその家族の支援団体」です。ケアーズは、1992年、大阪へモフィリア友の会(血友病患者会)の中心メンバーがHIVと人権・情報センターの協力を得て、当時HIV感染被害に揺れる血友病患者の状況打開を目的として設立されました。主な活動としては、血友病患者並びに家族への電話相談・機関誌等を通じての情報提供などです。

## 4. 特定非営利活動法人 CHARM( Center for Health And Rights of Migrants )

電話相談 TEL 06-6374-6768 木曜日 タガログ語 [Tagalog]・英語 [English] (16時～20時)  
土曜日 タイ語 [ภาษาไทย] (16時～20時)  
日曜日 スペイン語 [Español]・英語 [English] (16時～20時)

日本に暮らす外国籍住民が医療・福祉サービスを安心して受けられるように、その人の母語による情報提供や地域での生活支援、医療機関への通訳同行、HIV抗体検査の実施、母子保健事業、帰国準備支援などを行っています。

## HIVに関するホームページリスト

### HIV関連サイト

#### 〔国内〕

HIV/AIDS先端医療開発センター  
<http://www.onh.go.jp/khac/>  
国立国際医療センター  
エイズ治療・研究開発センター  
<http://www.acc.go.jp/accmenu.htm>  
中四国エイズセンター  
<http://www.aids-chushi.or.jp/>  
厚生労働省  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
エイズ予防財団  
<http://www.jfap.or.jp/>  
エイズ予防情報ネット  
<http://api-net.jfap.or.jp/>  
エイズ治療薬研究班  
<http://www.ijinet.or.jp/aidsdrugmhw/>

#### 〔海外〕

UNAIDS  
<http://www.unaids.org/en/default.asp>  
CDC  
<http://www.cdcnpin.org/scripts/index.asp>  
MMWR  
<http://www.cdc.gov/hiv/pubs/mmwr.htm>  
AEGIS  
<http://www.aegis.com/>  
NATAP  
<http://www.natap.org/>

2008年3月発行<第7版>

制作

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科

この印刷物は、厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 服薬アドヒアランスの向上・維持に関する研究班(主任研究者 白阪 琢磨)の助成を得て作成されました。